

複合経営の安定化と担い手を核とした地域農業の振興

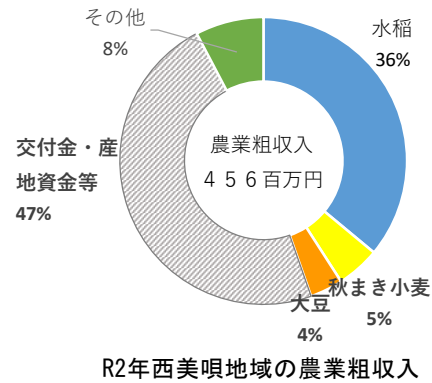
～ A.N.M (A)新しい(N)西美唄を(M)盛り上げよう～

対象：美唄市西美唄地域（19戸）

1 活動の背景

西美唄地域の概要

水稲、小麦、大豆が主体に複合経営
 経営規模：18.8ha/戸
 経営主年齢：平均53歳
 米麦営農組合（共同）：
 西美唄米麦、元村米麦、アグリ山形



現状

転作作物の収入(交付金等含む)が60%を占める。

・3米麦営農組合が存在
 ・若手の規模拡大志向

問題点

・秋小麦の収量が不安定
 ・水稲との春作業競合

各組合間の意見交換、若手農業者が地域農業を考える場が無い

課題

○直播水稲の普及
 = 基本技術実践
 ○秋まき小麦の収量向上
 = 適正肥培管理の実践

○地域農業を考える会の設立と振興方策の検討

2 活動の経過

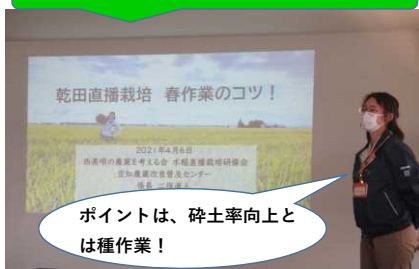
(1) 推進事項：直播水稲基本技術の実践

🔑 苗立数を確保する基本技術を提案(排水改善、は種床づくり、適期・適量は種)

西美唄版 直播水稲栽培マニュアルを提示



研修会～基本技術を周知、疑問を解消



苗立ち調査会～全員のほ場を皆で調査



(2) 推進事項：秋まき小麦の適正肥培管理

🔑 生育状況に応じた適期適量追肥、土壌pH改善を提案

起生期研修会～全員で茎数調査・研修



全戸定点ほ場を設置～生育状況の把握



西美唄通信 第3号

秋まき小麦のほ場巡回を実施しました。まもなく幼穂形成です。適切な肥をしましょう。

※2021年秋まき小麦の生育状況調査結果です。【注】調査は、調査地の生育状況を確認し、生育状況に応じた追肥の時期と量を提案しています。追肥の時期と量は、調査地の生育状況によって異なります。追肥の時期と量は、調査地の生育状況によって異なります。


調査地	生育状況	追肥時期	追肥量
調査地A	生育良好	10月15日	4kg/10a
調査地B	生育やや悪	10月20日	6kg/10a
調査地C	生育悪	10月25日	8kg/10a
調査地D	生育悪	10月30日	10kg/10a
調査地E	生育悪	11月5日	12kg/10a
調査地F	生育悪	11月10日	14kg/10a
調査地G	生育悪	11月15日	16kg/10a
調査地H	生育悪	11月20日	18kg/10a
調査地I	生育悪	11月25日	20kg/10a
調査地J	生育悪	12月1日	22kg/10a
調査地K	生育悪	12月5日	24kg/10a
調査地L	生育悪	12月10日	26kg/10a
調査地M	生育悪	12月15日	28kg/10a
調査地N	生育悪	12月20日	30kg/10a
調査地O	生育悪	12月25日	32kg/10a
調査地P	生育悪	1月1日	34kg/10a
調査地Q	生育悪	1月5日	36kg/10a
調査地R	生育悪	1月10日	38kg/10a
調査地S	生育悪	1月15日	40kg/10a
調査地T	生育悪	1月20日	42kg/10a
調査地U	生育悪	1月25日	44kg/10a
調査地V	生育悪	2月1日	46kg/10a
調査地W	生育悪	2月5日	48kg/10a
調査地X	生育悪	2月10日	50kg/10a
調査地Y	生育悪	2月15日	52kg/10a
調査地Z	生育悪	2月20日	54kg/10a
調査地AA	生育悪	2月25日	56kg/10a
調査地AB	生育悪	3月1日	58kg/10a
調査地AC	生育悪	3月5日	60kg/10a
調査地AD	生育悪	3月10日	62kg/10a
調査地AE	生育悪	3月15日	64kg/10a
調査地AF	生育悪	3月20日	66kg/10a
調査地AG	生育悪	3月25日	68kg/10a
調査地AH	生育悪	4月1日	70kg/10a
調査地AI	生育悪	4月5日	72kg/10a
調査地AJ	生育悪	4月10日	74kg/10a
調査地AK	生育悪	4月15日	76kg/10a
調査地AL	生育悪	4月20日	78kg/10a
調査地AM	生育悪	4月25日	80kg/10a
調査地AN	生育悪	5月1日	82kg/10a
調査地AO	生育悪	5月5日	84kg/10a
調査地AP	生育悪	5月10日	86kg/10a
調査地AQ	生育悪	5月15日	88kg/10a
調査地AR	生育悪	5月20日	90kg/10a
調査地AS	生育悪	5月25日	92kg/10a
調査地AT	生育悪	6月1日	94kg/10a
調査地AU	生育悪	6月5日	96kg/10a
調査地AV	生育悪	6月10日	98kg/10a
調査地AW	生育悪	6月15日	100kg/10a
調査地AX	生育悪	6月20日	102kg/10a
調査地AY	生育悪	6月25日	104kg/10a
調査地AZ	生育悪	7月1日	106kg/10a
調査地BA	生育悪	7月5日	108kg/10a
調査地BB	生育悪	7月10日	110kg/10a
調査地BC	生育悪	7月15日	112kg/10a
調査地BD	生育悪	7月20日	114kg/10a
調査地BE	生育悪	7月25日	116kg/10a
調査地BF	生育悪	8月1日	118kg/10a
調査地BG	生育悪	8月5日	120kg/10a
調査地BH	生育悪	8月10日	122kg/10a
調査地BI	生育悪	8月15日	124kg/10a
調査地BJ	生育悪	8月20日	126kg/10a
調査地BK	生育悪	8月25日	128kg/10a
調査地BL	生育悪	9月1日	130kg/10a
調査地BM	生育悪	9月5日	132kg/10a
調査地BN	生育悪	9月10日	134kg/10a
調査地BO	生育悪	9月15日	136kg/10a
調査地BP	生育悪	9月20日	138kg/10a
調査地BQ	生育悪	9月25日	140kg/10a
調査地BR	生育悪	10月1日	142kg/10a
調査地BS	生育悪	10月5日	144kg/10a
調査地BT	生育悪	10月10日	146kg/10a
調査地BU	生育悪	10月15日	148kg/10a
調査地BV	生育悪	10月20日	150kg/10a
調査地BV	生育悪	10月25日	152kg/10a
調査地BV	生育悪	11月1日	154kg/10a
調査地BV	生育悪	11月5日	156kg/10a
調査地BV	生育悪	11月10日	158kg/10a
調査地BV	生育悪	11月15日	160kg/10a
調査地BV	生育悪	11月20日	162kg/10a
調査地BV	生育悪	11月25日	164kg/10a
調査地BV	生育悪	12月1日	166kg/10a
調査地BV	生育悪	12月5日	168kg/10a
調査地BV	生育悪	12月10日	170kg/10a
調査地BV	生育悪	12月15日	172kg/10a
調査地BV	生育悪	12月20日	174kg/10a
調査地BV	生育悪	12月25日	176kg/10a
調査地BV	生育悪	1月1日	178kg/10a
調査地BV	生育悪	1月5日	180kg/10a
調査地BV	生育悪	1月10日	182kg/10a
調査地BV	生育悪	1月15日	184kg/10a
調査地BV	生育悪	1月20日	186kg/10a
調査地BV	生育悪	1月25日	188kg/10a
調査地BV	生育悪	2月1日	190kg/10a
調査地BV	生育悪	2月5日	192kg/10a
調査地BV	生育悪	2月10日	194kg/10a
調査地BV	生育悪	2月15日	196kg/10a
調査地BV	生育悪	2月20日	198kg/10a
調査地BV	生育悪	2月25日	200kg/10a

巡回・FAXなどで情報提供

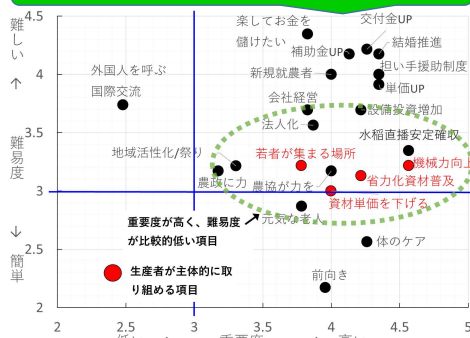
(3) 推進事項：担い手による地域農業の振興

「西美唄農業を考える会」の設立、地域課題の検討


全体研修開催～活動について合意形成



ワークショップの実施～地域の課題を把握



若手で西美唄農業を考える会を設立
～具体的な活動内容を協議



3 成果の具体的内容

(1) 直播水稻基本技術の実践

◎ **基本技術を5戸が全項目実践**
10戸が6項目以上実践

↓

○ **9戸が目標の苗立数を確保**

↓

○ **9戸が600kg/10a以上の収量**

直播水稻基本技術の実践状況（11戸）

推進技術(目標)	A	B	C	D	H	I	K	N	O	Q	R
排水促進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
額縁明きよ	-	-	-	-	○	○	○	-	○	○	○
簡易耕起	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
心土破砕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
は種床作り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
表土均平	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
砕土率	○	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○
適期適量	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
適量は種	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
は種	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
適期は種	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基本技術 全項目実践	x	x	x	x	●	●	x	x	●	●	●
基本技術 6項目以上実践	●	●	●	x	●	●	●	●	●	●	●
苗立数	◎	◎	◎	◎	◎	◎	x	x	◎	◎	◎
収量	◎	x	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	x

※基本技術 ●:実践 x:未達成 ※苗立数(本/m²)◎:150~250 x:~150
 ※収量(600kg/10a)◎:106%~ ○:95~105% x:~94%

(2) 秋まき小麦の適正肥培管理

◎ **適期適量追肥を8戸が実践** → ○ **11戸がJA平均と同等以上の収量**

◎ **次年度へ向けて、土壌pHの改善に10戸が取り組む**

タイムリーな営農情報参考になったよ!

適期適量追肥、pH改善の実践状況（14戸）

R3産 きたほなみ	推進技術	A	C	E	F	G	H	I	K	L	M	N	P	Q	R
	適期適量追肥	●	●	●	x	●	x	●	●	x	x	●	●	x	x
穂数(650~700本/m ²)	△	○	○	○	○	△	▽	△	△	△	▽	△	△	△	
収量(JA平均対比)	x	x	x	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
R4産 きたほなみ	pH適正化	◎	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	◎	-	◎	-	

※推進技術 ●:実践 x:未達成 ※穂数 ○:適正 △:多い ▽:少ない
 ※収量(JA平均対比) ◎:106%~ ○:95~105% x:~94% ※pH適正化 ◎:実施 -未実施



(3) 担い手による地域農業の振興

◎ **「西美唄の農業を考える会」**
 ※若手農家・地域代表者8名
 美唄市、JAびばい、普及センター

↓

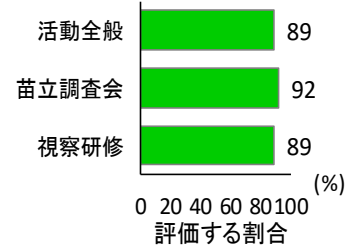
○ **直播水稻、秋まき小麦の研修会を企画**

○ **先進地視察研修の開催**

○ **全体研修会の開催**



考える会の活動は地域から高評価!



先進地視察研修(直播水稻、岩見沢市) 地域農業者へのアンケート

4 今後の課題と対応

- (1) 直播水稻と秋まき小麦の技術改善への支援を継続する。
- (2) 地域農業者のアンケートから、水稻を含めた輪作体系への関心が高かったため検討する。